

2022年4月

JETRO

オクラホマ州 ビジネスの魅力ガイド

State of Oklahoma

Skydance Bridge Oklahoma City, Oklahoma

街を彩る名所スカイダンスブリッジ、オクラホマ州オクラホマシティ

目次

Table of Contents

はじめに	3
基本情報	4
経済	
概況	6
主要産業	8
企業	13
投資インセンティブ	14
高等教育／特許	15
スタートアップ	17
ライフスタイル	18

オクラホマ州経済の魅力 動画で早わかり

オクラホマ州政府から日本の方々に向けての投資環境説明・
メッセージをご覧ください！



State of Oklahoma



【免責事項】

当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, L.L.C.の協力を得て制作しました。原則2021年3月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2021年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

はじめに

Preface

オクラホマ州への投資の魅力

オクラホマ州は米国のほぼ中央に位置しており、ニューヨーク、ロサンゼルス、マイアミ、トロント、メキシコシティといった北米の主要都市からほぼ同距離にある。また、州内の交通・物流インフラは充実している。州都オクラホマシティ（Oklahoma City）に次ぐ人口第2位の都市タルサ（Tulsa）にあるカトーサ河川港（Port of Catoosa）をはじめとする3か所の内陸港、オクラホマシティのウィル・ロジャース・ワールド空港（Will Rogers World Airport）とタルサ国際空港（Tulsa International Airport）、延べ約3,850マイル（約6,196km）の鉄道網、1万2,000マイル（約1万9,312km）の高速道路網があり、グローバル企業が各都市にアクセスし易くなっている。

オクラホマ州では法人税と所得税が低い州の一つであり、産業用電力料金も全米平均を大きく下回っている。ニューヨーク州やカリフォルニア州のような東・西沿岸部の州と比較すると、事業の運営コストが非常に低いというメリットもある。加えて、オクラホマ州では、同州に事業を移転・拡大する企業に対して現金支給や税額控除など様々なインセンティブ・プログラムが用意されている。

オクラホマ州は、天然ガス、石炭、風力、太陽光、地熱、水力の組み合わせによる多様でバランスの良い発電ポートフォリオを有し、電力供給の信頼性が高い。

優れたビジネス環境を活かし、航空宇宙、自動車、製造、バイオサイエンス、エネルギーなどの主要産業セクターを代表する140社以上のグローバル企業がオクラホマ州に出出している。

オクラホマ州には、オクラホマシティやタルサのような大都市がある一方で、湖や川、州立公園などの自然にも恵まれている。物価や地価、住宅価格、家賃などが低く、交通渋滞もほとんどない。米国南部特有の親しみ易く、常に人々を歓待する気質の住民が多いため、非常に住み心地の良い場所として知られている。



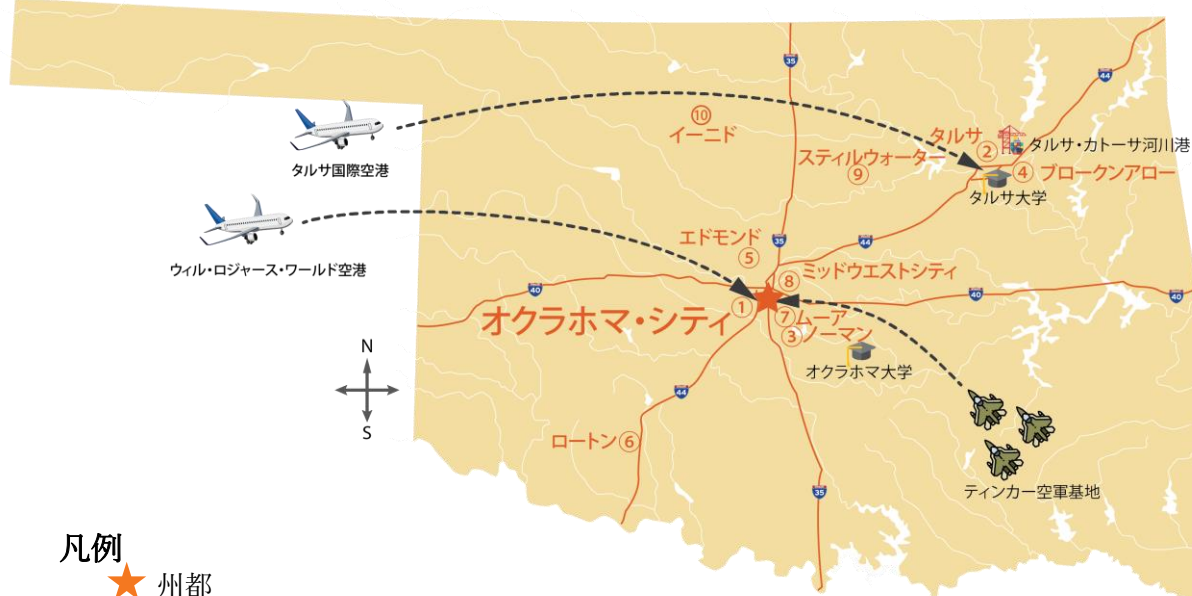
基本情報

Basic Information

オクラホマ州（州都：オクラホマシティ）は、米国中部に位置し、州北部はコロラド州とカンザス州、東部はミズーリ州とアーカンソー州、西部はニューメキシコ州、南部はテキサス州に接している。オクラホマシティからは、人口700万人を超えるテキサス州ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏まで車で約3時間の近きにある。



オクラホマ州の主要都市と主な空港・港



凡例

★ 州都

✈ 州内で旅客利用者数の多い空港

🚢 州内で取扱量の大きい港湾

🎓 U.S.News & World Report2021年 - 大学ランキングでオクラホマ州の上位大学

🇺🇸 米国空軍基地

①～⑩ オクラホマ州人口ランキング上位10都市（米国国勢調査局：2019年）



州議会議事堂



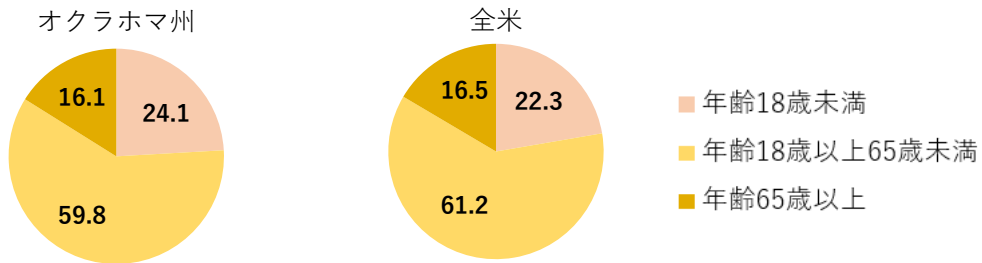
オクラホマシティの中心街の様子

オクラホマ州人口（単位：人）

人口*	オクラホマ州	米国全体
2010年	3,751,582	308,758,105
2019年	3,956,971	328,239,523
人口増減率（%）	5.5	6.3

*米国勢調査局 2010年4月1日時点、2019年7月1日時点の推計。以下データは特記無い限り同局

オクラホマ州と全米の人口に占める年齢別内訳（2019年、単位：%）



オクラホマ州と全米の人種構成（単位：%、2019年）

人種	オクラホマ州	米国全体
白人	74.0	76.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	7.8	13.4
アメリカ先住民とアラスカ先住民	9.4	1.3
アジア人	2.4	5.9
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.2	0.2
2種類以上の人種	6.3	2.8
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	11.1	18.5
白人（ヒスパニック〔ラテンアメリカ人）以外）	65.0	60.1

オクラホマ州と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2015～19年）

	オクラホマ州	米国
25歳以上の高卒率	88.0%	88.0%
25歳以上の大卒率	25.5%	32.1%

オクラホマ州 知事、連邦議員

州知事：ケビン・スティット（Kevin Stitt 共和党）。現在1期目、任期は2023年1月9日迄

連邦上院議員：ジェームズ・ランクフォード（James Lankford 共和党）、ジム・インホフ（Jim Inhofe 共和党）

連邦下院議員：定数5。いずれも共和党議員

日本ーオクラホマ州関係

- ・在ヒューストン日本国総領事館管轄 在タルサ日本国名誉領事 Hon. Dewey F. Bartlett, Jr.
- ・在留邦人数 543人（2015年10月 総領事館資料）
- ・姉妹都市：秋田県にかほ市-ショウニー市、栃木県宇都宮市-タルサ市、京都府-オクラホマ州、京都府亀岡市-スティルウォーター市、京都府精華町-ノーマン市

経済一概況

Economy



オクラホマ州の経済規模（2019年）

GDP	オクラホマ州	米国全体
名目GDP（百万ドル）	203,699	21,372,582

《参考》ニュージーランドの名目GDP（2019年）210,443百万ドル

データ：米国経済分析局、IMF

オクラホマ州の輸出入額（2019年）

輸出入額	オクラホマ州 （百万ドル）	米国全体 （百万ドル）
輸出額	6,142	1,642,820
輸入額	11,820	2,493,737

データ：米国情勢調査局

オクラホマ州の世帯数と所得（調査期間：2015～19年）

世帯・所得データ	オクラホマ州	米国全体
世帯数	1,480,061	120,756,048
平均世帯人数	2.58	2.62
世帯所得（中央値、ドル）	52,919	62,843
貧困率（%）	15.2	10.5

データ：米国情勢調査局



オクラホマ州の労働人口・失業者数

労働データ	2019年10月		2020年10月	
	オクラホマ州	米国全体	オクラホマ州	米国全体
労働人口（人）	1,846,046	164,965,729	1,871,865	161,890,197
失業者数（人）	62,204	5,947,932	114,419	11,195,747
失業率（%）	3.4	3.6	6.1	6.9

データ：米国労働統計局



経済概況

Economy



オクラホマ州の職業別雇用数・平均賃金（2019年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	オクラホマ州	米国全体	オクラホマ州	米国全体
全体	1,617,390	146,875,480	45,620	53,490
マネジメント	83,760	8,054,120	101,600	122,480
ビジネス・財務	76,500	8,183,750	66,470	78,130
コンピュータ・数理	31,950	4,552,880	72,450	93,760
建築・エンジニアリング	30,580	2,592,680	84,200	88,800
自然科学、社会科学	12,260	1,288,920	71,830	77,540
コミュニティ/社会サービス	23,650	2,244,310	42,980	50,480
法務	12,310	1,150,780	88,080	109,630
教育、訓練、司書	97,300	8,886,600	42,860	57,710
アート、デザイン、エンター テイメント、スポーツ、メ ディア	15,250	2,017,810	45,880	61,960
医療・看護・技師	99,790	8,673,140	72,880	83,640
医療補助	59,450	6,521,790	28,250	31,010
保安警備	35,360	3,498,800	42,370	49,880
飲食業	160,640	13,494,590	22,180	26,670
土地建物清掃メンテ	43,440	4,429,100	26,110	31,250
パーソナルケアとサービス	28,150	3,303,200	27,020	31,260
販売・営業	162,660	14,371,410	37,330	43,060
事務/管理補助	228,520	19,528,250	36,520	41,040
農業、漁業、林業	2,990	484,750	32,060	31,340
建設・採掘	91,290	6,194,140	45,820	52,580
設置、保守、修理	77,790	5,713,450	46,850	50,130
生産	110,110	9,158,980	39,870	40,140
運輸・運搬	133,640	12,532,030	36,030	37,920

データ：米国労働統計局

経済－主要産業

Major Industries

オクラホマ州の主要産業には航空宇宙、バイオサイエンス、エネルギー、流通などがある。同州中部に位置する州内人口最多都市オクラホマシティのティンカー空軍基地（Tinker Air Force Base）には、世界最大規模の航空機整備施設がある。州北東部の人口第2位の都市タルサには世界最大級の民間航空機整備施設や、メイズ郡（Mayes County）にはグーグルの巨大なデータセンターがある。州西部は「風の回廊（Wind Corridor）」と呼ばれる風力発電に適した風がよく通る一帯で多数の発電所が所在する。州南西部の町ロートン近郊にあるブルーキャニオン風力ファーム（Blue Canyon Wind Farm）が同州最大の風力発電所。近くにはグッドイヤーのタイヤ製造工場（Goodyear Tire and Rubber Company）がある。



経済－主要産業

Major Industries



オクラホマ州の旗

オクラホマ州を代表する主要産業



従来型エネルギー



再生可能エネルギー



航空宇宙・防衛



農業



自動車



バイオサイエンス



情報・金融サービス



製造



輸送・物流

オクラホマ州を代表する主要産業には、①従来型エネルギー、②再生可能エネルギー、③航空宇宙・防衛、④農業、⑤自動車、⑥バイオサイエンス、⑦情報・金融サービス、⑧製造、⑨交通・物流等がある。

なお、主要産業の記載に当たっては、オクラホマ州商務省（Oklahoma Department of Commerce）ウェブサイト及び資料を参考に作成した。既に高い競争力を有する産業の他、今後の成長を見込む産業も含まれている。

経済－主要産業

Major Industries



従来型エネルギー *Traditional Energy*

州成立前の1897年、オクラホマで商業的に成功した初の油田が北東部バートルズビル（Bartlesville）で誕生した。同州は以降、米国エネルギー産業の中核としての地位を確立してきた。州内には日量50万バレル以上の製油所が5か所あり、全米の約3%の製油が行われている。同州北部のクッシング（Cushing）には世界最大の石油貯蔵施設があり、ここでの石油取引価格は米国の原油価格の代表的な指標であるWest Texas Intermediate（WTI）の基準値となっている。天然ガスの生産量は全米で第3位である。



クッシング石油貯蔵施設



再生可能エネルギー *Renewable Energy*



オクラホマ州では、再生可能エネルギーによる発電が盛んである。州の電力需要の40%は再エネ由来である。風力発電容量は全米第3位であり、太陽光発電も高いポテンシャルがある。同州は年間を通じて強い風が安定して吹く「風の回廊（Wind Corridor）」に位置するため、風力発電所の設置に適している。このため発電に加え、風力発電所のブレードやタワーの製造、タービン部品の製造から保守管理、関連分野での研究開発に適している。風力発電関連雇用数は全米第2位である。同州は、米国国内を含む北米市場全体へのアクセスが良いため、ソーラーパネルの製造業者にとり製造や流通でのコスト競争力を得やすい環境にある。



航空宇宙・防衛 *Aerospace and Defense*

オクラホマ州には、5か所の軍事施設、2カ所の空軍州兵施設、国防総省最大の空軍基地、世界最大規模の民間航空機整備工場があり、航空機の製造、整備、研究開発などに携わる関連企業が1,100社以上集中している。また、航空宇宙・防衛セクターは同州で12万人以上の雇用を支えている。同州に拠点を置く主要企業には、ボーイング、ロッキード・マーティン、GEアビエーション（GE Aviation）、アメリカン航空、ドイツのルフトハンザ・テクニク（Lufthansa Technik）などが挙げられる。また、同州には航空宇宙関連プログラムを提供している大学が12校あり、人材育成にも力を入れている。



経済－主要産業

Major Industries



農業 *Agriculture*

オクラホマ州は、総面積の4分の3以上が農地であり、農業関連ビジネスが盛んである。同州の農家は主に、菜の花、小麦、綿花、ライ麦、ゴマなどを栽培している。農場の数は全米第4位で、農場の総面積は3,400万エーカー、農産物の出荷額は年間約18億ドルとなっている。家畜では、牛肉や豚肉の生産量が多い。また、農産物だけでなく、包装材、飲料品、肥料などの農業関連製品の製造業者も同州を本拠地として成功を収めている。



1910年に建てられた納屋：アーケイディア



自動車 *Automotive*



オクラホマ州には、米国の中央に位置するという立地条件の良さ、事業や人材にかかるコストの低廉さ、自動車関連の技能を有する人材の豊富さなど、自動車や自動車部品の製造に有利な環境が整っている。同州の電気料金は全米平均よりも22%安く、風力や太陽光などの再生可能エネルギー発電源も豊富にあることから、電気自動車（EV）の導入に適した地域としても期待されている。同州に拠点を置く自動車関連企業にはグッドイヤーやミシュランなどの他、EV用バッテリー修復・保守サービス企業Spiers New Technologiesなどが本社を置く。



バイオサイエンス *Bioscience*

オクラホマ州には、ハロルド・ハム糖尿病センター（Harold Hamm Diabetes Center）、オクラホマ大学（University of Oklahoma：OU）ステファンソンがんセンター（Stephenson Cancer Center）、デーソン・マッギー眼科研究所（Dean McGee Eye Institute）、プロキュア陽子線治療センター（ProCure Proton Therapy Center）など数多くのバイオテクノロジー関連研究機関があり、民間企業と共に、先端材料、界面活性剤、顕微鏡検査、医薬品、ヘルスケア関連製品の研究開発を行っている。なかでも、ステファンソンがんセンターは近年、米国国立がん研究所（National Cancer Institute：NCI）の臨床試験に参加している患者数で全米第1位である。



経済－主要産業

Major Industries



情報・金融サービス *Information and Financial Services*

オクラホマ州には、優秀な人材プールや魅力的なインセンティブ・プログラムなどがあり、データセンターの設置や事務管理業務、金融サービスを行うのに有利な環境がある。同州の産業用電気料金は全米平均よりも2～3割安いといった利点もあり、グーグルをはじめ70社以上のグローバル企業がデータセンターを同州に設置している。同州では、オクラホマ大学のあるノーマン（Norman）を中心に、優れた気象データ関連企業が集積している。



オクラホマシティーのビル街



製造 *Manufacturing*



オクラホマ州は、米国の中央部に位置するため、米国各地へのアクセスが良好で、複数の輸送手段があるため、製品を顧客に安く確実に届けることが可能である。加工食品、航空宇宙用機材、プラスチック製品など多岐にわたる製造業企業4,200社以上が同州に拠点を置いている。例えば、州南西部ロートン（Lawton）にあるグッドイヤーのタイヤ工場は、同社の北米最大の製造拠点となっている。オクラホマ州では約20校の大学や専門学校が、製造技術関連プログラムを通じて人材育成に注力している。



輸送・物流 *Transportation and Logistics*

オクラホマ州には、2つの国際空港、全長3,850マイル（約6,200km）の鉄道網、全長1万2,000マイル（約1万9,000km）の高速道路網がある。米国における交通の要衝であり、ニューヨーク、ロサンゼルス、メキシコシティ、カナダへの輸送に有利なロケーションにある。また、タルサのカトーサ河川港をはじめ州内の3つの河川港からアーカンソー川とミシシッピ川を通じてメキシコ湾に出ることができ、内陸にあって世界につながるルートがしっかり確保されている。



経済一企業

Major Companies

オクラホマ州の事業所数、マイノリティ所有事業所数、
退役軍人所有事業所数（2012年）

事業所の種類	総数
事業所	327,229
マイノリティ所有事業所	64,875（事業所数比19.8%）
退役軍人所有事業所	36,273（事業所数比11.1%）

データ：米国情勢調査局

オクラホマ州に本社を置くFortune 500企業（2020年）

順位	企業名	本社	業種	売上* （億ドル）
127	NGLエナジー・パートナーズ（NGL Energy Partners）	タルサ	原油パイプライン運営・天然ガス事業	240.8
313	ワンオーク（Oneok）	タルサ	天然ガス供給	101.6
373	チェサピーク・エナジー（Chesapeake Energy）	オクラホマシティ	石油開発・生産	84.8
387	ウィリアムズ（Williams）	タルサ	エネルギー	82
419	デボン・エナジー（Devon Energy）	オクラホマシティ	石油開発・生産	73.7

注：売上は前会計年度（Last Fiscal Year）の数値。

出典：Fortune発表を基に作成



投資インセンティブ

Investment Incentives

オクラホマ州は、税金や生活費が低廉であるのに加え、同州に投資する企業に対して、州および地方自治体レベルで充実したインセンティブ・プログラムを提供している。以下は、オクラホマ州商務省を通じて紹介される主なインセンティブの例である。

オクラホマ州政府の主な投資インセンティブ（2020年12月時点）

インセンティブ	概要
10年間現金支給インセンティブ（10-year Cash Incentive）	最長10年間、初任給の5%を上限として四半期ごとに現金を支給するものである。対象となる企業は、新規雇用に対して平均賃金以上の給与を総額250万ドル以上支払い、基本的な健康保険を提供することが条件となる。
中小企業優良事業プログラム（Small Employer Quality Jobs Program）	従業員数500人以下の中小企業を対象に、最大で7年間、新規課税給与額の5%までを四半期ごとに支給する。年間給与を郡の平均賃金の110%以上とし、最初の2年間は州外の売上高を35%以上、それ以降は60%以上が条件となる。
21世紀優良事業プログラム（21st Century Quality Jobs Program）	高度なスキルと知識を持つ人材を有する企業に報奨金を与える。対象となる産業分野は製造、航空、飛行訓練サービス、風力発電設備保守管理などで、郡の平均賃金の300%以上となる正社員を10人以上雇用することを条件としている。
優良事業に対する投資減税（Quality Jobs + Investment Tax Credits）	州の平均賃金よりも高い給与で従業員を採用し、4,000万ドル以上の設備投資をする製造業を対象とする投資減税。対象となる新規減価償却資産への投資額の2%、あるいは従業員一人の新規雇用に対して年1,000ドルのうち、いずれか大きい方の金額を5年間控除する。

出典：オクラホマ州商務省

経済開発組織・商工会議所

オクラホマ州の主要な経済開発組織および商工会議所・経済団体等は以下のとおり。

地	経済開発組織	商工会議所
オクラホマ州	オクラホマ州商務省（Oklahoma Department of Commerce）	オクラホマ州商工会議所（State Chamber of Oklahoma）
オクラホマシティ	オクラホマ市（Oklahoma City Economic Development）	グレーター・オクラホマシティ商工会議所（Greater Oklahoma City Chamber of Commerce）
タルサ	タルサ経済開発局（Tulsa Economic Development Corporation：TEDC）	タルサ商工会議所（Tulsa Regional Chamber）
ノーマン（Norman）	ノーマン経済開発連合（Norman Economic Development Coalition）	ノーマン商工会議所（Norman Chamber of Commerce） 出典：各組織のウェブサイト

高等教育／特許

Higher Education / Patent

主要大学

U.S.News & World Reportの2021年大学ランキングにおいて、オクラホマ州で上位に入った大学は次の通り。

大学	順位
オクラホマ大学 (University of Oklahoma, Norman)	133位
タルサ大学 (University of Tulsa, Tulsa)	143位
オクラホマ州立大学 (Oklahoma State University, Stillwater)	187位
オクラホマシティ大学 (Oklahoma City University, Oklahoma City)	241位

出典：U.S.News & World Report 2021を基に作成

オクラホマ大学

オクラホマ大学は1890年に設立された公立の研究大学で、愛称はOU（オーユー）。オクラホマシティ郊外のノーマンにキャンパスがある。新入生は全員、ナショナル・ウェザー・センター（National Weather Center：NWC）のあるキャンパスで生活することが義務付けられている。学部生は専攻に関わらず、夏季にNWCでの研究プログラムに応募することができる。マイケル・F・プライス経営大学院（Michael F. Price College of Business）、法科大学院、医科大学院、工科大学院など、大学院プログラムも多数提供している。また、アスレチックチームのOUソーナーズ（OU Sooners）は、フットボールやバスケットボールなど幅広いスポーツ分野で、全米大学リーグの強豪として知られている。



オクラホマ大学

タルサ大学

タルサ大学は1894年に設立された私立大学で、タルサのダウンタウン近くにキャンパスがある。タルサ大学は、石油工学のプログラムが有名で、総工費1,600万ドルの施設には掘削シミュレーターが完備されている。学部生は専攻に関係なく、1年生から研究プロジェクトに参加することができる。



タルサ大学

高等教育／特許

Higher Education / Patent

コミュニティカレッジ

オクラホマ州コミュニティカレッジ協会（Oklahoma Association of Community College : OACC）は、オクラホマ州にある2年制コミュニティカレッジの加盟校13校で構成されている。OACCでは、加盟校の職員向けに様々な職能開発プログラムを提供している。オクラホマ州のコミュニティカレッジは、高校卒業者や成人に対して質の高い教育プログラムを提供しているほか、産業界との連携による人材開発も進めている。例えば、ローズステート・カレッジ（Rose State College）は2019年4月、オクラホマ製造業者連合（Oklahoma Manufacturing Alliance）と提携し、協働ロボットの訓練プログラムの開始を発表した。協働ロボットを活用することで、工場の作業員とロボットが共通の空間で作業を効率的にできるようになると期待されている。



特許

オクラホマ州の2019年における特許取得件数は692件であった。

同州では、スティールウォーターにあるオクラホマ州立大学のエドモン・ロウ図書館（Edmon Low Library）が、米国特許商標庁の特許商標リソースセンター（Patent and Trademark Resource Centers : PTRC）に指定されており、特許取得に関する情報を提供する専門スタッフが配備されている。

オクラホマ州の米国特許取得件数 （2019年1月1日～12月31日）

地域	特許取得件数
オクラホマ州	692
米国合計	186,118
海外からの取得	204,985

データ：米国特許商標庁

Patents

Audits

スタートアップ

Startups

オクラホマ州のスタートアップ企業を支援する主な組織は以下のとおり。

組織（本社）	概要
● Acorn Growth Companies （オクラホマシティ）	2005年に設立された、航空宇宙、防衛、インテリジェンスに特化したベンチャーキャピタル。
● i2E(オクラホマシティ)	1997年に設立されベンチャーキャピタルで、起業家に顧問サービスなども提供している。
● Oklahoma Life Science Fund（タルサ）	2000年に設立されたベンチャーキャピタル。有望なライフサイエンス技術を提供する企業に投資をしている。
● Davis, Tuttle Venture Partners（タルサ）	1986年に設立されたベンチャーキャピタルで、成長企業に長期的な開発資金を提供している。
●● Metafund（エドモンド）	1999年に設立され、オクラホマ郡エドモンド（Edmond）に拠点を置く、ベンチャーキャピタル兼アクセラレーター。幼児教育やヘルスケアといった分野で融資や技術支援、コンサルティングサービスなどを提供している。

● VC ● アクセラレーター

出典：各組織のウェブサイト

“

起業家のためにアクセラレータを活用し、州内のスタートアップを支援し、イノベーションに投資をする必要がある

”

2021年2月
オクラホマ州 ケビン・ステイット知事
オクラホマ州一般教書演説

“

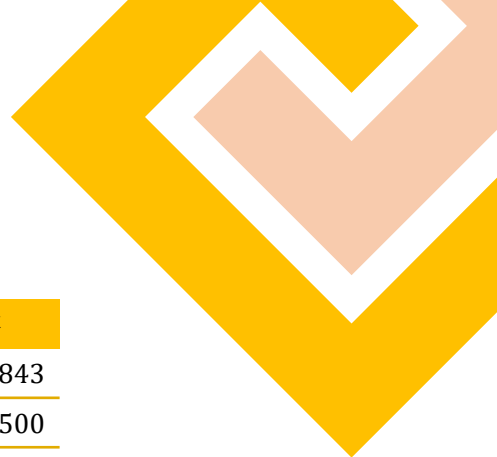
特にヘルスケア、そして技術分野においてイノベーションのニーズが非常に多い。課題がある限り、オクラホマ州が科学技術とイノベーションの領域で全米をリードし、知事が掲げる全米トップ10位の州になる機会がある。

”

2020年6月
オクラホマ州エリザベス・ポラード科学・イノベーション担当長官
長官任命の発表の席で

ライフスタイル

Life Style



生活基本データ（調査期間：2015～19年）

生活基本データ	オクラホマ州	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	52,919	62,843
住宅価格（中央値、ドル）	136,800	217,500
家賃（中央値、ドル）	810	1,062
持ち家率（%）	65.6%	64.0%

データ：米国情勢調査局

人気居住エリア

オクラホマシティ郊外にあるエドモンドは、質の高い公立学校や物件が多くあり、家族向けの住みやすい場所として人気が高い。また、タルサ郊外にあるジェンクス（Jenks）も、優れた教育システムがあり家族向けの地域として高い評判を得ている。



日本関係コミュニティ

オクラホマ州には、アジア人のコミュニティであるオクラホマ・アジア協会（Asia Society of Oklahoma：ASO）や、日本関係ではオクラホマ日米協会（Japan America Society of Oklahoma：JASO）、タルサ日本人友好会（Tulsa Japanese Friendship Club）などがある。オクラホマ州には日本語学校は少ないが、ランゲージ・カンパニー（The Language Company）など一部の語学学校が日本語のプログラムを提供している。



タルサのルート66ゲート

交通

米国情勢調査局によると、2015年から2019年におけるオクラホマ州の16歳以上の住民の通勤手段は車、トラック、バンを一人で運転が82.5%、車、トラック、バンの相乗りが9.8%、公共交通機関（タクシーを除く）が0.4%、徒歩が1.7%であった。また、同期間のオクラホマ州の通勤時間平均は21.9分で、全米平均の26.9分よりも5分短かった。

ライフスタイル

Life Style

オクラホマ州は、オクラホマシティやタルサのように都市部がある一方で、湖、川、州立公園などの自然にも恵まれている。

自然公園

タルサのダウンタウンにあるギャザリング・プレイス（Gathering Place）、グレート・ソルト・プレーンズ州立公園（Great Salt Plains State Park）、ナチュラル・フォールズ州立公園（Natural Falls State Park）、チカソー国立保養地（Chickasaw National Recreation Area）、ビーバース・ベンド州立公園（Beavers Bend State Park）、ウィチタマウンテン野生保護区（Wichita Mountains Wildlife Refuge）など。



ギャザリング・プレイス

博物館／美術館

オクラホマシティのカウボーイ・西部歴史博物館（National Cowboy & Western Heritage Museum）や、オクラホマ科学博物館（Science Museum Oklahoma）、オクラホマシティ国立記念博物館（Oklahoma City National Memorial & Museum）、タルサのフィルブルック美術館（Philbrook Museum of Art）など。



グレート・ソルト・プレーンズ州立公園

スポーツチーム

オクラホマシティ・サンダー（Oklahoma City Thunder：NBA）、オクラホマシティ・エナジー・フットボール・クラブ（Oklahoma City Energy Football Club：USLC）、オクラホマシティ・ドジャース（Oklahoma City Dodgers：AAA）など。地元住民には、オクラホマ大学のOUソーナースや、オクラホマ州立大学スティルウォーター校（Oklahoma State University, Stillwater）のアメリカン・フットボールチームの人気の高い。

住民気質

オクラホマ州の人々は、非常に友好的で、責任感が強い傾向がある。英国ケンブリッジ大学（University of Cambridge）の調査では、義務感、自制心、責任ある行動といった気質でオクラホマ州は全米で最も優れている州の一つとなり、思いやり、親しみやすさ、人間的な温かさといった気質でも全米上位に入ったという。オクラホマ州の住民の信教は、キリスト教が79%、無宗教18%、その他2%（ピュー・リサーチ・センター）。キリスト教信者南部バプテスト派の割合は、全米と比較して7倍多い（オクラホマ歴史協会）。

A large graphic element on the right side of the page. It consists of a thick yellow horizontal bar that transitions into a diamond shape. Inside the diamond, there are three concentric, nested diamond outlines. The outermost is yellow, the middle one is white, and the innermost is a light pinkish-tan color.

JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所
1221 McKinney Street, Suite 4141,
Houston, Texas 77010, U.S.A.
E-mail: inqu-hou@jetro.go.jp

写真：引用記載が無いものはShutterstockの素材を基に作成。Images used under license of Washington CORE with Shutterstock.com.

制作協力 Washington CORE, L.L.C